（参考資料3）

【満18歳以上】

福岡市の保健福祉に関する市民アンケートご協力のお願い

福岡市では、保健、医療、福祉に関する施策を総合的かつ計画的に進めるため、「保健福祉総合計画」に基づき、施策を進めております。

現在の計画が令和8年度で終了することから、令和9年度以降の計画を作る基礎資料とするため、市民の皆様のご意見をお聞きしたく、アンケート調査を行うことといたしました。このアンケートは、福岡市内にお住まいの満18歳以上の市民の中から 6,000人の方（住民基本台帳から無作為抽出）、障がいのある方や難病患者の中から 3,000人の方にご協力をお願いしております。

お忙しいところ恐れ入りますが、回答にご協力くださいますようお願いいたします。

令和 8年 3月 福岡市

回答方法について

【郵送の場合】

アンケート調査票に直接ご記入の上、同封の返信用封筒に入れ、ポストに投函してください。切手はいりません。

【スマートフォン・タブレットの場合】

1. カメラアプリを起動する
2. 右の二次元コードを読み込む
3. 表示された URL を押す
4. アンケートに回答し、送信する

【パソコンの場合】

1. インターネットブラウザを立ち上げる
2. URL入力欄に以下の URL を転記し、読み込む

   https://questant.jp/q/ja_fukuoka_hoken_2026
3. アンケートに回答し、送信する

※オンラインで回答いただいた場合は、郵送する必要はありません。

3 月 23 日（月）までに 回答を郵送、または送信してください。

このアンケートは英語でもこたえられます。
This is a survey on health and welfare conducted by Fukuoka City.
This survey is also available in English.
Please scan the 2D code on the right to respond.

記入上の注意

1. このアンケートは必ずご本人(封筒の宛名の方)がお答えください。ご本人による入力・記入が難しい場合は、介助されている方や、ご家族の方がご本人に聞き取りの上、入力・記入してください。

2. 令和8年3月1日現在の状況で回答してください。

3. 各質問の回答について、【○は1つだけ】【○はいくつでも】などと表示していますので、表示にあわせて回答してください。答えづらい質問には無理に回答する必要はありません。

4. 鉛筆やボールペンなどで記入してください。

5. 郵送で回答する場合、アンケート調査票・返信用封筒には、住所、氏名を記入する必要はありません。

6. 調査結果は統計的に処理し、目的以外に使用しません。

7. 記入にあたって、ご不明な点がある方や支援が必要な方は、ご遠慮なくお問い合わせください。

【調査の主体(お問い合わせ先)】
福岡市　福祉局　総務企画部　政策推進課
電話 092-711-4812　Fax 092-733-5587

【調査実施事業者（回答の返送先)】
公益財団法人　九州経済調査協会
電話 092-721-4905　Fax 092-721-4904

Ⅰ　福岡市の保健、医療、福祉についてお尋ねします。

多様性の尊重について

【問1】あなたは、福岡市では以下の点について、多様性が尊重されていると思いますか。

【①～⑥について、それぞれ○は1つだけ】　（単位:%）

（n=2, 373）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
① 性別	14.8	36.2	11.6	4.5	30.5	2.4
② 年齢	15.1	34.2	12.6	6.5	28.0	3.5
③ 国籍	17.8	37.9	9.7	5.5	26.1	2.9
④ 障がいの有無	13.9	37.0	12.3	6.9	26.8	3.1
⑤ 文化、考え方、価値観	13.1	39.0	11.8	4.9	28.1	3.0
⑥ 性的指向、性自認	8.5	25.5	13.2	5.6	43.8	3.3

【問2】あなたは、福岡市では総合的に多様性が尊重されていると思いますか。【○は1つだけ】

1. そう思う	12.0%	（n=2, 373） 無回答0.8%
2. どちらかといえばそう思う	44.0%	
3. どちらかといえばそう思わない	12.2%	
4. そう思わない	4.6%	
5. わからない	26.4%	

人生100年時代に向けた自分の望む生き方について

「人生100年」時代においては、平均寿命が延びて、これまでよりも多くの方々が65歳を超え高齢期に入ってからも、20年、30年という長い期間を過ごすことになります。そのため、自分らしい生き方や暮らし方を考えることがこれまで以上に重要になっています。

【問3】あなたは、「人生100年」時代に向けて、自分の望む生き方や暮らし方について考えていますか。【○は1つだけ】

1. 考えている	25.4%	（n=2, 373） 無回答0.3%
2. どちらかといえば考えている	44.6%	
3. どちらかといえば考えていない	17.2%	
4. 考えていない	9.0%	
5. わからない	3.5%	

【問4】あなたは、将来に備えて、具体的に取り組んでいることがありますか。取り組んでいることを**すべて選んでください。**　（n=2, 373）無回答0.8%

1. 人とのつながりづくり（友人などとの交流）	40.4%
2. 社会参加（仕事、ボランティア、地域活動）	28.2%
3. 健康づくり・介護予防（運動、食生活、生活習慣の見直し）	55.9%
4. 住まい（住宅改修、住み替え・施設への入所など）	22.6%
5 貯蓄・資産形成、老後資金の計画	46.1%
6. 資格取得・学びなおし	12.1%
7. 介護や医療に関する情報収集	17.1%
8. 終活（身の回りの整理やエンディングノートの作成、遺言作成）	16.6%
9. 人生会議（アドバンス・ケア・プランニング：どのような医療やケアを望むか、自ら考え、信頼する人たちと話し合うこと）	5.9%
10. その他（具体的に　　）	1.7%
11. 特にない	12.1%

社会的なつながりについて

【問5】あなたと同居していない家族や友人たちとのコミュニケーション頻度について、①～③ごとにそれぞれお答えください。【①～③について、それぞれ○は1つだけ】（単位:%）

（n=2,373）	週4～5回以上	週2～3回程度	週1回程度	2週間に1回程度	月1回程度	月1回未満	全くない	無回答
① 直接会って話す	14.7	11.3	14.5	8.9	18.5	20.5	7.5	4.2
② 電話（ビデオ通話含む）	8.3	10.0	14.1	10.9	17.5	19.3	13.9	5.9
③ SNS や電子メールなど	21.6	14.7	13.9	8.2	11.9	9.4	11.8	8.4

※SNS でのコミュニケーションは、アプリケーションによるチャットなど、テキストベース（文字情報）でのやりとりを指します。また、電子メールには、SMS（ショートメッセージサービス）を含みます。

（同居している人がいる方にお尋ねします）

【問6】あなたは、同居している人たちと、コミュニケーションを取っていますか。【○は１つだけ】

1. 取っている	57.6%
2. どちらかといえば取っている	15.0%
3. どちらかといえば取っていない	2.9%
4. 取っていない	0.6%
5. わからない	0.6%

（n=2, 373）
無回答11.4%
同居している人はいない 11.9%

（再び、全員の方にお尋ねします）

【問7】あなたには、困ったときに相談できる人や場所はありますか。【○は１つだけ】

1. ある（いる）	→問8へ	86.8%	（n＝2,373） 無回答0.8%
2. ない（いない）	→問９へ	6.2%	
3. わからない		6.2%	

（【問7】で「1. ある（いる）」と回答した方にお尋ねします）

【問８】あなたは、誰（またはどこ）に相談しますか。【○はいくつでも】（n＝2,059）無回答0.1%

1. 家族・親族	91.4%
2. 友人・知人	63.6%
3. 近所の人	5.6%
4. 民生委員	2.4%
5. 自治会役員	1.7%
6. 区役所などの行政窓口	10.1%
7. 市が運営する相談窓口	6.9%
（地域包括支援センター（いきいきセンターふくおか）、障がい者基幹相談支援センターなど）	
8. 民間などの福祉サービス事業者	1.8%
9. ケアマネージャー（介護支援専門員）	4.9%
10. 病院、医院などの医師	16.4%
11. NPO等の民間団体・ボランティア団体	0.5%
12. 社会福祉協議会	1.0%
13. インターネットや AI（人工知能）	15.0%
14. その他（具体的に　　）	1.7%

（再び、全員の方にお尋ねします）

【問9】あなたは、困ったときに相談できる公的な相談窓口を知っていますか。知っているものをすべて選んでください。　（n＝2,373）無回答3.8%

1. 福祉の総合相談窓口（ぬくもりの窓口）	12.6%
2. 区役所の保健福祉センター （各区の福祉・介護保険課、子育て支援課、健康課、地域保健福祉課、保護課）	48.5%
3. 地域包括支援センター（いきいきセンターふくおか）	30.0%
4. 介護実習普及センター	2.2%
5. 働く人の介護サポートセンター	1.6%
6. 終活サポートセンター	1.8%
7. 成年後見推進センター	3.3%
8. 障がい者基幹相談支援センター	3.7%
9. 障がい者更生相談所	1.9%
10. 心身障がい福祉センター（あいあいセンター）	6.5%
11. 療育センター	6.7%
12.精神保健福祉センター	4.6%
13.発達障がい者支援センター（ゆうゆうセンター）	5.2%
14.障がい者就労支援センター	4.2%
15.生活自立支援センター	4.5%
16.こども総合相談センター	6.3%
17. その他（具体的に　　）	1.2%
18. 上記のいずれも知らない	33.0%

生活に困窮している人への支援について

福岡市の取組み紹介

福岡市ではこのような取組みを行っています。

○福祉の総合相談窓口（ぬくもりの窓口）

福祉に関する困りごとや悩みごとを抱える方へ総合的な支援を行う窓口です。

○生活自立支援センター

仕事や生活にお困りの方やお悩みを抱えている方が、安定した自立生活を送れるよう、仕事や住まい、家計など、解決に向けた支援を行っています。

○社会福祉協議会

生活にお困りの方に対し、生活福祉資金の貸付や自立に向けた相談支援を行っています。

○生活保護

経済的に困窮している方に対して国が最低限度の生活を保障し、自立を助ける制度です。

【問10】あなたは、福岡市では、生活困窮者の支援が充実していると思いますか。【○は1つだけ】

1. そう思う	10.7%
2. どちらかといえばそう思う	28.1%
3. どちらかといえばそう思わない	10.0%
4. そう思わない	6.1%
5. わからない	44.6%

（n＝2,373）
無回答0.5%

地域福祉活動について

（n＝2,373）無回答2.9%

【問11】あなたが過去1年間に参加したことがある地域福祉活動をすべて選んでください。

1. 民生委員・児童委員の見守り活動	2.5%
2. ふれあいネットワーク	1.7%
3. ふれあいサロン	2.5%
4. 子育て交流サロン	2.7%
5. 地域カフェ、認知症カフェ	2.0%
6. 生活支援ボランティア（ゴミ出し、電球交換、草取り、外出支援など）	3.5%
7. 地域の福祉活動に関する出前講座	2.1%
8. ふくふくクラブ福岡（老人クラブ）	1.2%
9. その他（具体的に　　）	2.2%
10. 参加したことがない　→問13 へ	83.1%

（問11 で1. ～9. を選ばれた方にお尋ねします）

【問12】あなたは、地域福祉活動にどのくらい参加しましたか。【○は1つだけ】

1. 週に1回以上	15.4%	（n＝331）
2. 月に1回程度	22.1%	無回答5.4%
3. 年に数回程度	32.6%	
4. 年に1回	24.5%	

（再び、全員の方にお尋ねします）

【問13】あなたは、地域福祉活動に関心がありますか。【○は1つだけ】

1. ある	7.9%	（n＝2, 373）
2. どちらかといえばある	29.6%	無回答1.0%
3. どちらかといえばない	27.6%	
4. ない	17.7%	
5. わからない	16.1%	

【問14】あなたは、どのようなことがあれば地域福祉活動により参加しやすくなると思いますか。

【○はいくつでも】　（n＝2, 373）無回答1.8%

1. 活動の情報が入手しやすいこと	38.6%
2. 定期的でなくても参加できること	41.3%
3. 負担が少ないこと	53.3%
4. 一人でも参加しやすいこと	43.7%
5. 地域の人から積極的な誘いがあること	11.4%
6. 家族や友人、仲間と参加しやすいこと	23.5%
7. その他（具体的に　）	3.2%
8. 参加しようとは思わない	13.7%

認知症の人の暮らしやすさについて

福岡市の取組み紹介

福岡市ではこのような取組みを行っています。

○認知症コミュニケーション・ケア技法「ユマニチュード®」

4つの柱「見る」「話す」「触れる」「立つ」を基本に認知症の人とのコミュニケーションをスムーズにするケア技法「ユマニチュード」の普及のため、地域や学校で講座を実施しています。

○認知症フレンドリーセンター

認知症の人や家族、企業等の相談・交流、ユマニチュード等の講座の実施に加え、最新の技術を活用した認知症の人の視野体験など認知症に関する情報発信を行っています。

○認知症の人にもやさしいデザイン

記憶障害や理解力・判断力などが低下する認知症の症状を踏まえ、認知症の人がストレスなく安心できる環境を作り出すデザインの導入を進めています。

○福岡オレンジパートナーズ

認知症の人とその家族、企業、福祉事業者、行政等で構成し、認知症の人にやさしい製品やサービスの開発などにより、認知症の人や家族の社会参加・活躍を進めています。

○認知症カフェ

認知症の人やその家族、地域住民が気軽に集い、介護や福祉等の専門家を交えて相談・交流・情報交換ができる場所「認知症カフェ」の開設を進めています。

【問15】あなたは、福岡市では認知症になっても自分らしく暮らし続けることができると思いますか。

【○は1つだけ】

1. そう思う	4.9%
2. どちらかといえばそう思う	21.5%
3. どちらかといえばそう思わない	17.0%
4. そう思わない	16.8%
5. わからない	39.2%

（n＝2,373）
無回答0.5%

健康づくりの取組みについて

【問16】あなたは、毎日意識的に健康づくりに取り組んでいますか。(例：定期的な運動、バランスのとれた食事や睡眠、禁酒や節酒、口腔ケアなど)【○は1つだけ】

1. 取り組んでいる	24.3%	(n=2,373) 無回答0.8%
2. どちらかといえば取り組んでいる	49.3%	
3. どちらかといえば取り組んでいない	14.8%	
4. 取り組んでいない	8.2%	
5. わからない	2.6%	

【問17】あなたは、福岡市は、健康づくりに取り組める環境が充実していると思いますか。(例：体を動かしやすい場所がある、情報提供が充実している、教室やイベントに参加しやすいなど)【○は1つだけ】

1. そう思う	9.9%	(n=2,373) 無回答0.8%
2. どちらかといえばそう思う	36.0%	
3. どちらかといえばそう思わない	15.5%	
4. そう思わない	8.2%	
5. わからない	29.6%	

社会参加活動について

【問18】あなたは、以下のような活動を定期的に行っていますか。行っているものをすべて選んでください。

(n=2,373) 無回答1.3%

1. 自治会、町内会などの地域で行われている活動(問11 の地域福祉活動も含む)	15.0%
2. ボランティア活動	5.4%
3. 就労(フリーランス、自営業含む)	29.3%
4. 趣味・文化活動(サークル活動や習い事など)	19.2%
5. スポーツ活動(サークル活動など)	12.7%
6. その他の団体活動	4.0%
7. 上記のいずれも行っていない	40.7%

福祉施策の充実について

【問19】あなたは、福岡市は、福祉の取組みが充実していると思いますか。【○は1つだけ】

1. そう思う	7.7%
2. どちらかといえばそう思う	36.5%
3. どちらかといえばそう思わない	9.9%
4. そう思わない	5.2%
5. わからない	39.7%

（n＝2,373）
無回答1.0%

高齢者や障がい者などの住まいや日常生活に関する支援について

福岡市の取組み紹介

福岡市ではこのような取組みを行っています。

○住み替えでお困りの65歳以上の方や障がいのある方を対象に、民間賃貸住宅への入居や入居後の生活をサポートしています。

○身体機能の低下した高齢者や、在宅の身体障がい児・者がいる世帯に、住宅改造費用の一部を助成しています。

○障がい者グループホームの開設に必要な備品購入費や、重度障がい者を受け入れるための改修費等を補助しています。

○買い物等支援推進員による、企業、事業所等の多様な主体が参加する、地域の支え合いによる買い物を支援しています。

○身体上の障がいを補うための補装具の購入・修理にかかる費用の支給や、在宅の障がい児・者、難病患者に対する日常生活用具の給付を行っています。

○寝たきりなどでおむつが必要な高齢者へのおむつ配送や、ショートステイなどの料金を助成しています。

【問20】あなたは、福岡市では、高齢者や障がい者などに対する、住まいや日常生活の支援が充実していると思いますか。【○は1つだけ】

1. そう思う	7.8%
2. どちらかといえばそう思う	35.7%
3. どちらかといえばそう思わない	10.1%
4. そう思わない	6.3%
5. わからない	39.6%

（n＝2,373）
無回答0.5%

重度障がい者への支援について

福岡市の取組み紹介

福岡市ではこのような取組みを行っています。

○医療的ケアが必要な障がいのある人の介護者の負担軽減

訪問看護ステーションの看護師が、介護者に代わり医療的ケアを伴う見守りを行っています。

○在宅の医療的ケア児の家族の負担軽減

医療保険の適用を超える自宅利用や医療保険の適用外となる自宅以外での訪問看護を行っています。

○強度行動障がいのある人の支援

関係施設の職員が支援技術を学ぶ研修を実施しています。

○重度障がい者グループホーム

運営費を補助しています。

【問21】あなたは、福岡市は、重度障がい者に対する支援が充実していると思いますか。

【○は1つだけ】

1. そう思う	7.0%	（n＝2,373） 無回答0.6%
2. どちらかといえばそう思う	27.0%	
3. どちらかといえばそう思わない	8.2%	
4. そう思わない	4.5%	
5. わからない	52.7%	

医療環境の充実について

【問22】あなたは、福岡市は、医療環境が充実していると思いますか。【○は1つだけ】

1. そう思う	22.4%	（n＝2,373） 無回答1.9%
2. どちらかといえばそう思う	49.2%	
3. どちらかといえばそう思わない	6.8%	
4. そう思わない	4.0%	
5. わからない	15.7%	

健康被害の発生予防・拡大防止について

【問23】あなたは、感染症対策（例：各種予防接種の実施、感染症予防の啓発など）や食の安全性の確保（例：飲食店への監視指導（立入検査など）、食中毒予防の啓発など）など、福岡市が行っている健康被害の発生予防・拡大防止の取組みに、満足していますか。

【○は1つだけ】

1. 満足している	12.4%	（n＝2,373） 無回答0.6%
2. どちらかといえば満足している	44.5%	
3. どちらかといえば不満がある	6.7%	
4. 不満がある	2.1%	
5. わからない	33.7%	

災害時の安心について

【問24】あなたは、災害が発生した時に、周りに頼れる人がいますか。【○は1つだけ】

1. いる	64.8%	（n＝2,373） 無回答0.5%
2. いない	20.8%	
3. わからない	13.9%	

【問25】あなたは、災害が発生した時に、安心して避難できる場所（自宅避難を含む）がありますか。

【○は1つだけ】

1. ある	68.2%	（n＝2,373） 無回答0.5%
2. ない	11.0%	
3. わからない	20.4%	

保健・医療・福祉に関する福岡市のまちづくりについて

【問26】あなたは、福岡市は「誰もが住み慣れた地域で暮らし続けることができるまち」だと思いますか。【○は1つだけ】

1. そう思う	30.3%	（n＝2,373） 無回答0.3%
2. どちらかといえばそう思う	48.4%	
3. どちらかといえばそう思わない	5.9%	
4. そう思わない	3.8%	
5. わからない	11.3%	

【問27】あなたは、福岡市は、年齢や障がいの有無などに関わらず、「誰もがいつまでも意欲や個性に応じて活動できるまち」だと思いますか。【○は1つだけ】

1. そう思う	13.9%	（n＝2,373） 無回答0.7%
2. どちらかといえばそう思う	42.0%	
3. どちらかといえばそう思わない	9.6%	
4. そう思わない	4.8%	
5. わからない	28.9%	

【問28】あなたは、福岡市は「保健・医療・福祉が充実し、誰もが安心して暮らせるまち」だと思いますか。【○は1つだけ】

1. そう思う	15.4%	（n＝2,373） 無回答0.7%
2. どちらかといえばそう思う	49.0%	
3. どちらかといえばそう思わない	9.6%	
4. そう思わない	4.0%	
5. わからない	21.4%	

Ⅱ　あなたについてお尋ねします。

※該当する□に✓(チェック)を入れてください。

年齢	□18～19歳　□20～24歳　□25～29歳　□30～34歳 □35～39歳　□40～44歳　□45～49歳　□50～54歳 □55～59歳　□60～64歳　□65～69歳　□70～74歳 □75～79歳　□80～84歳　□85歳以上
性別	□男性　□女性　□その他　□回答しない
住所	□東区　□博多区　□中央区　□南区　□城南区　□早良区　□西区
福岡市にお住まいの期間	□1年未満　□1年以上5年未満　□5年以上10年未満 □10年以上
職業	□会社員、公務員等 □パート、アルバイト □自営業 □学生 □無職 □その他(具体的に　　)
同居の家族等(当てはまるものすべて)	※当てはまる人数に〇をつけてください。 □同居している人はいない(単身世帯) □配偶者・パートナー □就学前の子ども（ 1人 ・ 2人 ・ 3人以上 ） □小中学生の子ども（ 1人 ・ 2人 ・ 3人以上 ） □高校生の子ども（ 1人 ・ 2人 ・ 3人以上 ） □成人した子ども(高校生を除く)（ 1人 ・ 2人 ・ 3人以上 ） □親(配偶者・パートナーの親を含む)（ 1人 ・ 2人 ・ 3人以上 ） □兄弟姉妹（ 1人 ・ 2人 ・ 3人以上 ） □祖父母　（ 1人 ・ 2人 ・ 3人以上 ） □孫（ 1人 ・ 2人 ・ 3人以上 ） □その他（ 1人 ・ 2人 ・ 3人以上 ）

アンケートはこれで終わりです。お忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。回答漏れがないか再度ご確認のうえ、**<u>3月23日(月)までに</u>** ポストに投函または送信してください。